

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成24年10月15日（月）～10月21日（日）〔平成24年第42週〕の感染症発生状況

第42週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)突発性発疹でした。

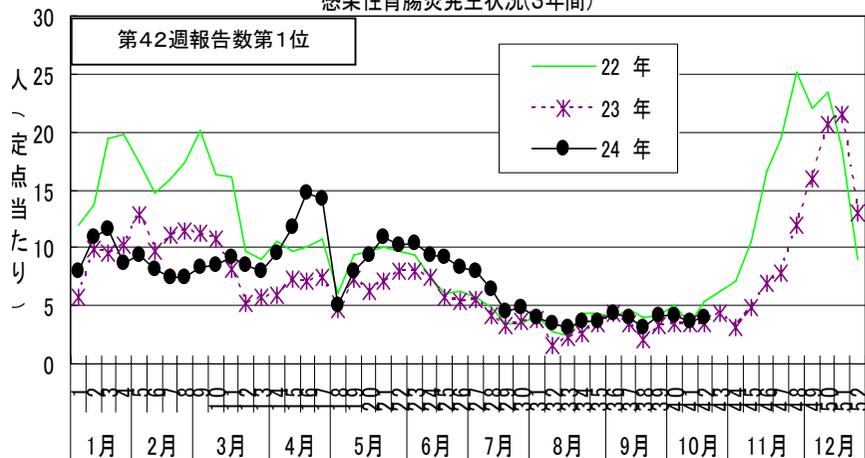
感染性胃腸炎は定点当たり4.00人と前週（3.73）より患者報告数は増加し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.18人と前週（1.00）より患者報告数は増加し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

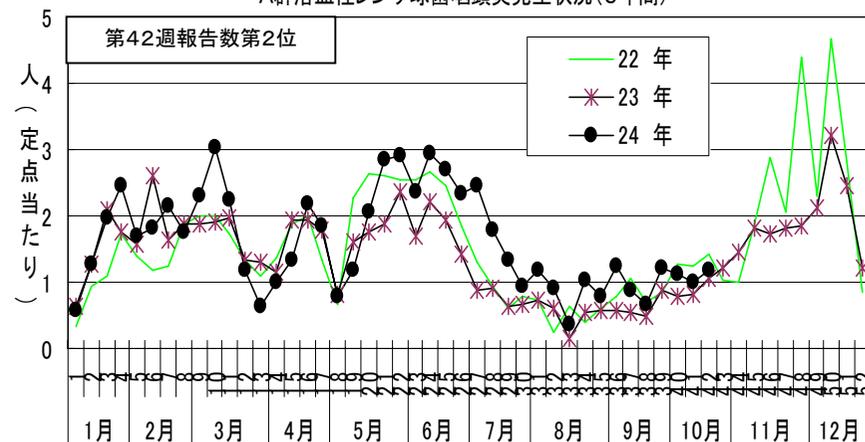
腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件（推定感染地域：国内）ありました。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

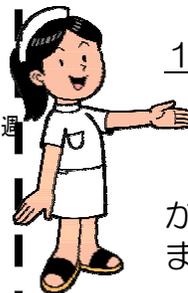


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



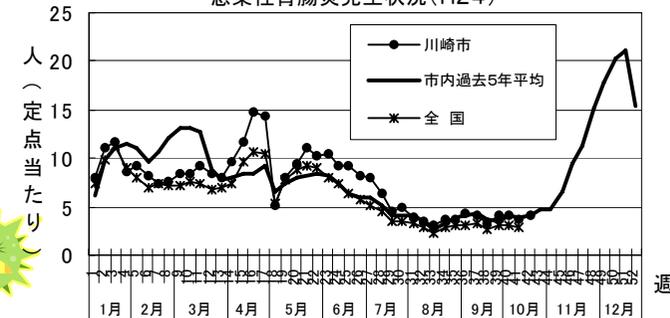
## ～感染性胃腸炎が流行する冬季に備えて～

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こり、主に下痢や嘔吐などの症状が出ます。秋から冬にかけて流行するものはほとんどがウイルスによって起こり、特にこれからの時期はノロウイルスによるものが増えてきます。



右のグラフのとおり、例年11月から12月に感染性胃腸炎の患者数が増加していることがわかります。今から、感染性胃腸炎にかからないように対策を心がけましょう。

感染性胃腸炎発生状況(H24)



## ～みんなで防ごう！ノロウイルス対策！！～

- ① 二枚貝等の生食には注意し、加熱が必要な食品は中心部まで加熱（85℃で1分以上）して食べるようにしましょう。
- ② 患者の便や嘔吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗い・うがいを徹底しましょう。
- ③ 便や嘔吐物を放置してしまうと、乾燥して空気中に舞い上がり、それが口に入ることによって感染することもあります。患者の便やおむつ、嘔吐物は乾燥しないうちに早めに片付けましょう。
- ④ 必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（※次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒しましょう。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。

発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区役所保健福祉センター(保健所)  
(問い合わせ先) 044-200-2412